

2013年度「基礎研修Ⅰ」のお知らせ

東京社会福祉士会 生涯研修センター

2012年4月より、認定・上級社会福祉士制度がスタート、生涯研修制度は新しい時代を迎えました。新カリキュラムによる基礎研修を下記に示す日程で開催します。研修は2日に渡ります。またレポートの提出が必要となります。時代が、真に力量のある社会福祉士を求めています。「高度な知識と卓越した技術を用いて、個別支援や他職種との連携、地域福祉の増進を行う能力を有する社会福祉士」を目指す第一歩の研修に、奮ってご参加ください。

1. 日程

受講申込み 受付期間	6月1日(土)～7月8日(月) 必着 提出書類は注意①をご参照ください
受講通知発送	7月中旬
集合研修1 開催日時	8月4日(日) 9:30～16:30 戸山サンライズ 大・中会議室 ※地図は、申込書をご参照ください。
中間課題 提出期間	提出期間内にご郵送ください。 9月10日(月)～10月31日(木)必着
集合研修2 開催日時	11月17日(日) 9:30～16:30 飯田橋レインボービル 中会議室 ※地図は、「集合研修1」にて、ご案内予定です。

2. 受講料：10,000円

受講料は振込みとなります。振込み先、期日は「受講通知書」に記載いたします。

3. 注意

①申込みについて

- ・申込書・事前課題①②を同封し送付してください。
- ・申込み及び事前課題の提出は、締め切り日必着とさせていただきます。
- ・封筒宛名面に「事前課題」と明記してください。

郵送先：〒162-0051 東京都新宿区西早稲田 2-2-8 全国財団ビル5F
(公社) 東京社会福祉士会・生涯研修センター事務局宛

②事前課題・中間課題について

- ・事前課題①、②の課題については「次ページ4-1」をご確認ください。
書式は「A4・横書き」で、手書き、PCどちらでも受け付けます。
- ・中間課題①～④の課題について、詳細は「次ページ4-3」をご確認ください。
郵送方法は事前課題に準じますが、封筒宛名面に「中間課題」と明記してください。
詳細は「集合研修1」にてご説明致します。

③集合研修について

- ・「集合研修1」、「集合研修2」の受講は必須となります。

4、「基礎研修Ⅰ」の研修内容・各課題について

1) 事前課題 「社会福祉士の役割を考える」(提出課題は以下の2種類)

①「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」について(800字程度)

「社会福祉士の倫理綱領・行動規範」を一読し、それを踏まえて、あなたが社会福祉士として大切にしたいことについて800字程度にまとめてください。

②「生涯研修制度」について(1200字程度)

「生涯研修手帳」に目を通し、生涯研修制度の概略を理解した上で、あなたが研修に対してどのようなことを期待し、どのように考えているかを1200字程度にまとめてください。

2)「集合研修1」 内容

- ①「社会福祉士会のあゆみ」(講義)
- ②「日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織」(講義)
- ③「日本社会福祉士会の生涯研修制度について」(講義)
- ④「社会福祉士としての専門性について考える」(演習)

3) 中間課題 提出期間にご注意ください

①「所属組織の社会福祉士実践を知る」(1000字程度)

現在所属している機関がどのような役割や機能を持っているか、またそこで働いている先輩社会福祉士から社会福祉士が担っている役割について話を聞き1000字程度にまとめてください。

※現在所属機関がない方、所属している組織に社会福祉士がいない場合は、この課題は提出せず、②の課題を3か所にして提出してください。

②「所属組織以外の社会福祉士実践を知る」(1000字程度、2か所以上)

所属組織以外の施設や事業所(独立型を含む)で活躍している社会福祉士から話を聞き、その組織の役割・機能及びその組織で社会福祉士が担っている役割を1000字程度でまとめてください。

③「倫理綱領・行動規範の理解」(1項目600字程度、2項目提出)

あなたの日頃の実践を振り返り、「社会福祉士行動規範」と照らし合わせ、2つの項目を取り上げて、あなたの実践を考察してください。

④「社会福祉士共通基盤の理解」(1000字程度)

「社会福祉士共通基盤の理解」を読んで、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要なのか、あなたの実践を振り返りながら1000字程度でまとめてください。

注:中間課題の提出については、以下の通り、提出して下さい。

- ・所属先がない方、所属先に社会福祉士がいない方
→中間課題②×3項目、中間課題③×2項目、中間課題④
- ・上記以外の方
→中間課題①×1項目、中間課題②×2項目、中間課題③×2項目、中間課題④

4)「集合研修2」 内容

- ①「社会福祉士共通基盤の理解」(講義)
- ②「倫理綱領・行動規範の理解」(講義)
- ③「社会福祉士の倫理綱領の現場適応」(演習)